

令和 8 年

## 寒川町教育委員会会議録

### 2 月 定 例 会

日 時：令和8年2月20日（金）  
午後1時30分 ～ 午後2時59分

場 所：東分庁舎第3会議室

出席者

#### <教育委員会>

|      |     |   |   |     |   |
|------|-----|---|---|-----|---|
| 教育長  |     | 花 | 山 | 尚   | 人 |
| 教育委員 | 1 番 | 布 | 谷 | あけみ |   |
|      | 2 番 | 小 | 川 | 雅   | 子 |
|      | 3 番 | 大 | 森 | 博   | 明 |
|      | 4 番 | 山 | 本 | 博   | 司 |

#### <事務局職員>

|              |   |   |     |   |
|--------------|---|---|-----|---|
| 教育次長         | 高 | 橋 | 陽   | 一 |
| 教育政策課長       | 奥 | 谷 | 浩   | 二 |
| 学校教育課長       | 上 | 村 | 純   | 一 |
| 教育施設給食課長     | 川 | 部 | 雅   | 人 |
| 寒川学校給食センター所長 | 中 | 嶋 | 裕   | 子 |
| 生涯学習課長       | 岡 | 野 | 恵   | 子 |
| 教育政策課指導主事    |   |   |     |   |
| （兼）学校教育課指導主事 | 明 | 珍 | 陽   | 介 |
| 寒川町民センター館長   | 別 | 府 | 拓   | 自 |
| 総合図書館館長      | 川 | 村 | 佳   | 子 |
| 書記           | 千 | 野 | あずさ |   |
|              | 小 | 林 | 将   | 太 |

## 寒川町教育委員会定例会（２月）議事日程

1. 開 会
2. 会議録署名委員の指名  
大森委員 山本委員
3. 教育長報告
4. 社会教育施設報告
  - ①公民館報告（資料 １）
  - ②総合図書館報告（資料 ２）
5. 委員報告
6. 協 議
  - ①令和８年度重点施策について（資料 ３）
7. その他
8. 議 事  
報告第１号 専決処分の報告について
9. 閉 会

## 1. 開 会

○教育長

ただいまの出席者は5名です。定足数に達していますので、寒川町教育委員会2月定例会を開会いたします。本日の会議日程はお手元の資料の通りです。

## 2. 会議録署名委員の指名

○教育長

本日の会議録署名委員は大森委員と山本委員にお願いいたします。

## 3. 教育長報告

○教育長

まず学力向上についてです。各学校において1年間の校内研究のまとめを行い、1年間の成果と課題を職員会議や校内研究全体会で共有しました。また、目指す子どもの姿や授業像について改めてイメージを共有し、今年度の校内研究の成果を生かしつつ、次年度の校内研究の方向性について協議を行っています。

年度末に際して、児童生徒の学習到達度の確認として、各小中学校において、町独自に作成した寒川町学年別確認問題に計画的に取り組んでまいります。学習の到達度を確認するとともに、間違い等の振り返りを大切にし、子どもたちの確かな力につなげていってほしいと思います。

次にいじめ・道徳教育についてです。今月も大きないじめ案件等の報告はありません。1月26日月曜日から30日金曜日の期間に、町立小・中学校全児童・生徒及び保護者を対象に、学校生活全般における体罰等の実態把握に関する調査を実施いたしました。

大きな報告はありませんでしたが、不適切な指導を受けたことがあるとの報告があり、該当の学校へ情報共有とともに調査依頼をしました。その結果、保護者の認識と学校の認識において相異なる部分が見られたため、状況の整理とともに、学校と保護者で再度話し合いを行う予定です。

次に外国語教育の推進です。今年度から行っています英語検定の助成につきましては、令和8年2月18日時点で42名の助成を行うことができます。客観的な英語力の証明とともに、実力を測定することによるモチベーションアップや自己肯定感の向上から英語学習の継続的な励みにつながっていると考えられます。今後も英語検定の助成について、チラシや町公式LINEプッシュ等で周知を行い、英語検定に挑戦する生徒を応援してまいります。

次にICT教育の推進です。2月18日水曜日に寒川町教育研究員部会の一つであるICT研究部会において、個別最適な学びと協働的な学びにおけるICTを活用した授業研究を寒川小学校の4年生算数科にて行いました。

小数点の足し算において、小数点の位の異なる足し算の計算の仕方を個別に考え、その後、タブレット端末にて考え方を共有しつつ、グループや全体に向けて発表を行っていました。大切な情報や発表した意見についてはしっかりと板書に残し、授業の一部に ICT を取り入れ、メリハリのある研究でした。

授業後の研究協議では、複数の課題が指摘されました。ICT 機器を活用すると情報量が多くなり、大事な情報が流れてしまうことへの懸念点が挙げられました。また、タブレット上だけの関わりが多くなると人間関係が薄れていくため、人に向かって考えを発信する、伝え合う活動を取り入れていくべきであるといった意見が出てきました。これらの意見を授業改善に生かした研究を行うことができました。

最後に支援教育です。2月5日木曜日から2月10日火曜日まで、町民センターと寒川総合図書館において、町内小・中学校の特別支援学級の児童生徒も参加している寒川町福祉作品展『虹色の仲間たち』が開催されました。どの作品もカラフルな仕上がりで児童生徒が心を込めて作成した様子が伝わり、心が温かくなり、楽しい気持ちになるようなものばかりでした。

なお、2月27日金曜日には、小学校5校の特別支援学級の合同お別れ会が行われる予定です。

【質疑等なし】

## 4. 社会教育施設報告

### ①公民館報告（資料1）

【議事内容は資料1により町民センター館長から説明】

【主な質疑等】

○山本委員

寒川ならではの獅子舞の披露など、寒川が持っている良さを町民センターや公民館が役割を持って継承していくことは大変良いことだと思います。公民館事業の中に、各学校が情報を持ち、講師としてお招きして実技的な講師になってもらう機会も出てくるかもしれません。公民館の事業について、学校の先生方がご存じない部分も多いのではないかと思います。歴史講座の講師の先生など、中学生が興味を持ちそうな内容も多くあります。こうした情報を学校側に提供し、人材バンクのように活用できると良いと考えます。町の活動団体への支援や応援により、団体が活力を高める活動が寒川町内で継続していくことを期待いたします。

○布谷委員

「英語でチャレンジ！こども TGG バスツアー」について、何の略でどこにある施設か教えてください。

○町民センター館長

TGG とは「東京英語村 (TOKYO GLOBAL GATEWAY)」という名称の体験型英語学習施設で、江東区の青海にあります。

○大森委員

親子でクラフト教室の参加率が 208%であったとのことですが、昭和的な遊びや昔ながらの遊びは、ICT が普及して人間関係が希薄になりがちな現代において非常に重要だと感じます。募集人数が 12 人であったため 208%という数字になったのだと思いますが、このような昭和の遊びの規模を拡大していただけると嬉しいです。また、歴史講座の幕末に関する内容についても、さらに多くの人が歴史に興味を持てるような取り組みを期待しております。

○町民センター館長

クラフト教室の参加率が 208%となった理由ですが、冬休み期間中の平日開催であったため、未就学のお子様と保護者だけでなく、学校が休みの兄弟も一緒に参加されたことが要因です。昔遊びに関しては、今年度、郷土研究会の方と協力して竹とんぼやコマ回しなどの講座を実施いたしました。令和 8 年度も協力を得られれば、同様の講座を継続して実施したいと考えております。

## ②総合図書館報告（資料 2）

【議事内容は資料 2 により総合図書館長から説明】

【主な質疑等】

○山本委員

図書館の会議室について、一般開放的な会議室なのか、またはスタッフサイド向けなのかを教えてください。また、学習室の利用状況、特に不登校の子どもたちが勉強できる場所があると良いのではないかと思います。さらに、視聴覚インターネットコーナーの利用状況と費用対効果についてお聞かせください。

○総合図書館長

会議室は基本的に図書館の内部向けですが、寒川町関連の方が申し込みして利用するこ

ともあります。学習室については、学生の利用が半分程度を占めており、テスト期間には2階と3階の学習席がほぼ満席になるほど多くの利用があります。インターネットコーナーについては、前々年度に削減し、その分を学習席として利用開放しております。インターネット席の利用に関しては、年配の方が多い印象です。学生はスマートフォン等で情報を収集できるため、インターネット席を利用することは少ないと思われます。視聴覚資料については、館内で閲覧される方と貸出を利用される方の両方がいらっしゃいますが、館内で閲覧される方は同じ方が多い印象があり、多くの方は貸出を利用されていると思われます

#### ○小川委員

不登校の子どもたちが図書館で学べる環境があるとよいと考えています。隣接する自治体では、中学校と図書館が隣接している利点を活かし、不登校の子どもたちを受け入れて、返却された本のチェックや整理を子どもたちにやってもらうことで、自己肯定感を高めたり、卒業後のひきこもりや孤立を防ぐ取り組みを行っています。寒川では立地的な問題もあるかと思いますが、すべての人の役に立ち、みんなの孤立を防ぐ場所として図書館の在り方について、一緒に考えていけたらと思います。

#### ○布谷委員

旭が丘中学校の生徒による図書館コンサート「箏のしらべ」など、学校連携事業として子どもたちの発表の場を地域に提供することは、多世代の観点からも非常に素晴らしい取り組みです。こうした連携をさらに進めていただけるとよいと思います。

#### ○大森委員

寒川中学校訪問ブックトークについては、ICT時代にある中での活字離れ、本離れが進む中、読書に親しむきっかけを作る大変有意義な活動です。様々な小学校や他の場所への展開も継続していただきたいです。

## 5. 委員報告

#### ○小川委員

2月5日に開催された令和7年度第3回寒川町総合計画審議会に出席いたしました。教育委員会関連の施策では、グローバル教育の推進における外国語学習の成果や、ICT活用の具体的な指標について、当初の計画を上方修正する形での議論が行われました。また、令和7年度第4回民生委員推薦会において、新たに推薦された候補者2名について、書面にて適格性の確認を行いましたことを報告いたします。

○山本委員

2月18日に開催された青少年問題協議会に出席いたしました。会議には茅ヶ崎警察署の生活安全課長が出席し、現状報告が行われました。過去に比べて学校は落ち着いた状況になっていると感じる一方で、犯罪の様子や青少年が抱える問題は昔と大きく変わってきており、今後の方向性を教育委員会としても考えていく必要があると感じました。

## 6. 協議

### ① 令和8年度重点施策について（資料3）

【議事内容は資料3により教育政策課長、学校教育課長、生涯学習課長から説明】

【主な質疑等】

○小川委員

社会教育の重点施策3にある「西寒川支線跡の調査研究の推進」について、どのような調査研究を行うのか教えてください。

○生涯学習課長

西寒川支線跡については、令和8年度に専門の講師に委託する予定です。専門家にご意見をいただきながら、現地を見ていただいて、新しい事実がないかどうかを調査するものです。

○教育長

西寒川支線は全国的にも鉄道ファンの間でメッカのような場所のようです。支線が別にあることと、鉄道ファンの視点から魅力がある場所とのこと。町の観光協会に昭和59年3月31日付けの最後の営業日の記念切符が販売されています。

○山本委員

学校教育の重点施策の中で「知・徳・体」という三つの柱があると思いますが、知ばかりが出てきているように感じます。体の部分も大事であり、徳の部分も大事だと思いますので、学校教育の重点施策に位置付けてほしいです。

学校施設の整備は教育施設給食課の担当かもしれませんが、教育施設給食課の施策も重点施策に位置づけるべきではないかと考えます。

また、寒川ゆうゆう学園について具体的にはどのようなものか教えてください。

○生涯学習課長

寒川ゆうゆう学園について、子ども対象事業として町の公民館事業や町で実施している

事業に参加した子どもにスタンプをお渡しします。10 個スタンプが集まると修了証を交付するもので、1 年間で貯めなければならないというものではなく、年度を繰越しても問題ありません。

#### ○山本委員

子どもの活動を盛り上げるために、スタンプ活動などの取り組みが行われていますが、「ゆうゆう学園とは何か」という基本的な理解が、子どもにも保護者にも十分に浸透していないのではないかと懸念されます。この点を検証し、改善する必要があると考えます。

事業内容が良いからこそ、周知活動をしっかり強化し、子どもの参加を促進することが重要です。ここで一度施策を見直し、より効果的な形へ整え直してもよいのではないかと思います。

また、青少年指導員の活動は社会教育の中でも非常に重要です。活動の具体的な内容や実績を教育委員会から提示していただけると、どのような役割を担っているのかを理解でき、その重要性を認識できるのではないのでしょうか。青少年指導員の活動を重要な取り組みとして位置づけていただきたいと思います。

もう一点、周知徹底に関して、文化財学習センターについて、観光協会とも連携しながらもっと盛り上げていただきたいと思います。一之宮小学校の施設を活用した文化財学習センターが、より多くの人が集う場所へと発展していくことを期待しています。郷土歴史文化財普及啓発事業は非常に良い事業ですので、携わる職員の思いや工夫がもっと伝わるようになると思います。

#### ○生涯学習課長

寒川ゆうゆう学園の対象講座を掲載した生涯学習情報誌「すきっぷ」を年4回発行しており、小学生全員に学校を通じて配布しています。あわせて、幼稚園・保育園にも配布をしておりますので、未就学児についても周知しているような状況ですが、さらに強化していきたいと考えています。

青少年指導員の活動については、機関紙「かけはし」というものを年1回発行しています。広報さむかわ3月号とあわせて全戸配布されていますが、まだご存じない方がいらっしゃるということであれば、こちらも周知について強化していきたいと思います。

文化財学習センターについては、来月町民センターの展示コーナーで出張展示を行います。LINE プッシュ通知等で周知をしていきます。

#### ○布谷委員

「知・徳・体」という三つの柱については、項目だけ建てればよいというものではないと思いますが、寒川の子どもたちを育てていくのに1項目として取り上げるべきではないかと思っています。



○学校教育課長

重点施策 5 までは「知」と「徳」が含まれていると認識していますが、「体」の部分については検討させていただきたいと思います。教育施設給食課の食育といった部分も「体」に入ってくるのかと思いますので、それも含めて検討させていただけたらと思います。

## **7. その他**

【案件なし】

## **8. 議事**

### **報告第 1 号 専決処分の報告について**

○教育長

報告第 1 号に関して、寒川町議会定例会への提出案件であり、提出前の内容であるため非公開での会議としてよろしいか。

【委員全員の了承によりこれ以降非公開で会議】

○教育長

報告第 1 号についてを終了いたします。

【議事内容は非公開のため略】

## **9. 閉会**

○教育長

今回は 3 月 19 日木曜日午後 1 時 30 分から東分庁舎第 3 会議室において開催いたします。これをもちまして、寒川町教育委員会 2 月定例会を閉会いたします。

上記事項につき全委員確認し終了したので閉会を宣言した。

上記会議録の顛末を記載し相違ないことを証してここに記載する。

令和 8 年 3 月 3 / 日

教育長 花 山 尚人

署名委員 大 森 博 明

署名委員 小 本 博 司

会議録調整者 小 杯 将 人